



学校だより 7月号

市田っ子

令和5年7月20日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

将来に必要な力貯金をする夏休みに!!

よく言えば「ひらめき」、わるく言えば「思いつき」、もしかすると、既に「聞いたよ」「何回、同じことを話すんだ」と、思われる方もいらっしゃると思いますが、今回もお付き合いください。

夏休み（に限らずですが）に、「家事、手伝いをしましょう」は、この時期の常套句のようなもので、私も担任だった頃は、長期休業中の宿題としていました。

私の考えるお手伝いは、

- 1 毎日続けることのできそうな内容・活動
- 2 確認が容易なもの・ことから
- 3 活動後はねぎらうこと

を要件としています。

例えば、「毎日、夕方6時にカーテンを閉めること」

一見、単純でお手伝いにならなそうですが、よくよく考えると「難易度星5つ」です。

用事で出かけることもある、体調が優れない日もあるかもしれない、気分的にやりたくない日もある。自分の生活条件に折り合いを付けながら、毎日、続けることは工夫とエネルギーを必要とします。

なので、お手伝いを継続するためには（できない日、やらない日を織り込んで）、

夏休みを見通して、できない日を見積もる。

代理執行を可能とする。

有給日を設定する。

等々、事前に約束（合意形成）することが大切になります。

既にお気づきの方もいると思いますが、「決まった時間にカーテンを閉める」だけなのに、社会生活に必要なことが目一杯詰まっているのがお手伝いです。

改めて、お手伝いの効果は以下のとおりです。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 毎日続けることのできそうな内容・活動 | → 役割 責任 工夫 自立へ |
| 2 確認が容易なもの・ことから | → レベツアップ チャレンジ精神へ |
| 3 活動後はねぎらうこと | → 自尊感情 肯定感 信頼 コミュニケーションへ |



非認知能力の向上へ （やり抜く力 思いやり 応用力等）

【R4 学校だよりから再掲】

この夏休み、私から保護者の皆様へ宿題です。

- (1) お子さんとたくさん話すこと（1日の出来事 子どもの趣味、興味・関心のあること）
- (2) お子さんとレスポンスよく会話すること（素早く、短く切り返す 言葉を引き出す）
- (3) お子さんの聴き役になること（子どもは、聞いてもらえる人に話しかけます）
- (4) お子さんの話を聴いて、感情を表すこと
（「えー！」「すごいねー」とか、非言語も重要 安心できる会話時間・空間を）
- (5) 意思決定を大切にすること（失敗するとわかっている）

答え合わせは、5年から10年後くらいになりますね。一番近いときで高校受験の頃かも。毎日のことだからこそ、意図的に、ていねいに。

よろしく願いいたします。

- * お手伝いで一番大切なことは「大人の非認知能力」（待つこと＝忍耐力）かな。
保護者の方のご苦労（愚痴）は、私が聴きます(^_^)

引き渡し訓練 ～天災は忘れた頃にやってくる～



引き渡し訓練の様子

6月23日（金）に地震を想定した引き渡し訓練を行いました。近いうちに大きな地震が起きると予想されます。昔から、「備えあれば、憂いなし」といわれます。いざというときのために、今から準備しておきましょう。

授業参観 ～ 子供たちの授業の様子はいかがだったでしょうか ～

6月30日（金）に授業参観を行いました。多くの方に参観していただきました。子供たちは、保護者の方に立派な姿を見せようと張り切ってがんばっていました。ご多用の中、ご参観いただきまして、ありがとうございました。今後ともよろしく願います。



授業参観の様子

五家宝体験 ～熊谷の伝統の銘菓を学び、食す～



五家宝体験

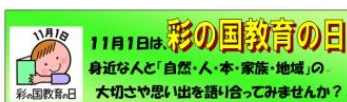
7月6日（木）に3年生が五家宝体験を行いました。「花堤」の方に来校していただき、熊谷の郷土の銘菓である「五家宝」の作り方を教えていただきました。また、体験もあり、実際に食べることもでき、子供たちは楽しく学ぶことができました。

5年生林間学校 ～初めての宿泊学習で、多くを学ぶ～

7月12・13日（水・木）に5年生が林間学校へ行ってきました。1日目は、フォレストアドベンチャーで楽しみながら森を感じ、2日目は、飯盒炊さんでカレー作りを行ったり、陶芸体験を行いました。とても素敵な思い出ができました。



林間学校の様子



QRコードはこちら→

裏面もあります